

## (閲覧用)

令和2年度 第3回北広島市上下水道事業経営審議会議事概要	
開催日時	集約期間：令和3年2月5日（金）から令和3年2月17日（水）まで 会議の日：令和3年2月17日（水）
出席委員 8人	細谷副会長、関谷委員、田中委員、原口委員、檜山委員 廣上委員、吉岡委員、高橋会長
審議案件	北広島市水道ビジョン・経営戦略の改定について（第6章から第7章まで）
議事録 署名委員	田中委員を指名

## 【提出意見（7人提出）】

## A 委員

令和9年度（2027年度）終了時点での未耐震管から耐震管への更新率はどのようになっているか。

令和10年度（2028年度）～令和12年度（2030年度）の赤字を防ぐために水道料金の改定をした場合どのような金額となるか。現行の4,158円（20m<sup>3</sup>/月）はいくらになるのか。

77ページの進捗管理において、5W1H（いつ、どこで、誰が、何を、何故、どのように）のうち「どこで」「誰が」の2項目が一読しただけでは分かりにくいので明記すべきである。

自主水源を持たぬ北広島市がこれまで道内35市の中で低い方から16番目の水道料金を維持してきたことは高評価に値すると思われる。

最終章として「編集後記」の形で良いので、何故維持することが出来たのかその理由と考えられる要因は市水道行政の長所であるので今後とも市民とともにこれを大切に、守り、育てていきたいという思いを記載されれば良いと思う。

## B 委員

（70～75ページ）投資・財政計画（収支計画）の数字の根拠が前段（55～68ページ）にあると思うが、収支計画のどこの説明なのか。また、表現の異なる箇所（例：収益的収入と経常収益など）もあり分かりにくい所があると思う。収支計画の項目順での記載、また何かリンクできるような記号等を付与するのも良いのではないか。

### C 委員

有収率は目に見えない老朽化を判断する指標の一つとも考えられる。類似団体の有収率がほぼ一定の中、本市が平成 26 年以降に減少し続けていることについて、より老朽化が進行しており、設備の更新が必要となる前後の説明とあわせて理解することが適当と思われる。その一方で、配水管の材質や地域の給水量の相違を反映した更新を順次行うことで改善が見込まれると考えることもでき、また第 6 章などの中長期の見直しでの投資・修繕計画を勘案しても改善されると思われることから、有収率と老朽化に関連する追記の必要があれば検討されたい。

「令和 10 年度からは減価償却費の増加」の表現について、71 ページ資料からは、令和 10・12 年度と令和 11 年度を比べた際に全体の純損益に影響を与える経費の金額として、修繕費が大きいように思われる。減価償却費は全体でみるとゆるやかな増加を続けており、減価償却費の影響は無論大きいですが、第 5 章より前、特に第 2 章及び 76 ページ（2）との整合性から、修繕費と減価償却費の併記を検討されたい。

長期的な財政見直しについて、後段を給水原価あるいは経費の増加であることが分かるように表現の加筆を検討されたい。

（要望の趣旨） 前段は給水収益の減少の説明であるが、後段は財政の説明として前段とのバランスがとれていないと感じられる。収益が減少する一方で、原価が増加しており、純損益として赤字の経営が続くことがわかると、より読みやすくなるのではと思われる。

第 6 章の章末の最後のまとめとして直近で料金改定をしない見通し（根拠）や経営努力を簡潔でよいので再掲しておくことを検討されたい。

### D 委員

北海道内 35 市の水道料金グラフに、「令和〇年〇月〇日現在」の表記を加えた方がよいと考える。

### E 委員

資産減耗費について、分かりやすい説明が必要である。

56 ページの投資計画の合計と、72 ページの資本的支出（1、建設改良費）の数値が異なるが、その関係性を知りたい。

また、55 ページからの項目の説明が、70 ページからの表のどこに当てはまるのかが、もう少し分かりやすいといいと思う。

F 委員

51 ページの【具体的取組のまとめ】について、現状では、「具体的取組」「目標」の順番に並んでいるが、「目標値」「実績値」「具体的取組」の順に並べるのが一般的だと思う。目標値は「施策」を測定する尺度（ものさし）になる。目標値を設定することで、施策がどの程度達成しているのかを実績値と比較することで可視化される。目標値と実績値のギャップを埋める手段が具体的取組になる。測定されなければ管理できない。第 7 章に掲げられている進捗管理を確実にを行うためにも、それぞれの施策を測定する目標値（尺度）を設定してはいかがか。

また、あわせて、施策の進捗を定期的（月次、四半期、半期）に管理する担当者（責任者）も貼り付けていたら良いと思う。

収益的収支で記載されている水道料金収入（70～71 ページ）は、推計方法 3 の給水収益（67 ページ）と異なるように見えるが、別に計算されているものなのか。

投資・財政計画（収益的収支、資本的収支、資金不足比率、他会計繰入金）の見方について、図表を用いて簡単な解説を加筆してはいかがか。例えば、収益的収支とは何か、収益的収支はどこを見れば良いのかなど、各項目の基本的な見方のポイントをまとめたものが付いていると、市民の水道事業に対する理解（水道事業が厳しい状況にあること）がより一層深まると思う。

長期推計の棒グラフに、①今後の主なイベントと、②金額を加筆してはいかがか。

内部留保資金については、どのように考えているか。最低限確保すべき金額の目安は。

## G 委員

第 2 章において、水道施設の現状・評価とこれに関する各種指標、経営指標による経営分析に関する記述がある。このうち、特に経営指標による経営分析について、北広島水道の特徴や経営分析について、総括的な記述が欲しいと感じたが、いかがか。その上で、第 5 章と第 6 章で、今回のビジョン・戦略の計画期間内で、それぞれの指標がどのように推移する見通しなのか、あるいは推移させたいのか、記述することは難しいか。

地下水の利用についての記述が、ややバランスに欠いているように感じた。また、地盤沈下など、北広島市において、これまで具体的な被害が生じているのかについても、知りたいと感じた。

家庭用の水需要の推計は、人口×一人当たり水使用量で行われると推察するが、今回の推計では、一人当たり水使用量は変わらないという前提での推定か。そのことについての説明がある方が良いと感じるが、いかがか。ボールパークと西口開発に伴う需要について、本文での記載は難しいとしても、参考資料として、どこかに概ねの算出根拠が必要ではないかと感じた。

土木、建築、管路、電気計測設備、機械設備、それぞれについて、目標耐用年数の記述があるが、それぞれの設定の考え方について、本文での記載は難しいとしても、参考資料として、どこかに記述が必要ではないかと感じた。特に管路については、各事業体で各々の年数が設定されているので、北広島市としての考え方を示す必要があると感じた。

建設改良の進め方について、35 ページに紙面を割いた法定耐用年数と目標耐用年数と関連付けた説明が必要ではないかと感じた。

「老朽化が進んでいる機械・電気計装設備については、機器の重要度や劣化度を総合的に勘案して順次、更新を進めます」という記述にとどまらず、時間計画保全や状態監視保全といった予防保全の考え方を念頭に置いて、更新の考え方についてももう少し踏み込んだ説明が必要ではないかと感じた。

公営事業の収支の仕組みについて、簡単な説明がないと理解しにくいと感じた。収益的収支と資本的収支の違いや関係性について、簡単な説明を加えたらいかがか。

経常費用の内、大きな割合を占める受水費設定の考え方について記述する必要があるのではないか。

「給水件数見込み」が唐突に出てきている印象がある。給水収益との関係について丁寧な説明が必要と感じた。

給水収益の推計は重要であり、注目もされると思う。「推計方法 3 をベースとすること」にした考え方について、丁寧に説明する必要があると感じた。

配水管の更新年数の設定（40 年と 60 年）について、35 ページで設定している目標耐用年数と、法定耐用年数と関連付けて設定していることについて、説明する必要があるのではないかと感じた。

進捗管理の考え方について、図示するのが良いと感じた。また、用語集が不足していないか精査する必要があると感じた。

【改定案に対する各委員の評価結果】

※各評価項目について5段階で評価（1 そう思わない ⇔ 5 そう思う）

第6章 投資関連経費

	評価項目	
評価	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	1人	0人
4	4人	6人
3	3人	2人
2	0人	0人
1	0人	0人

第6章 投資以外の経費

	評価項目	
評価	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	1人	0人
4	4人	4人
3	3人	3人
2	0人	1人
1	0人	0人

## 第6章 資本的収入

評価	評価項目	
	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	1人	0人
4	5人	5人
3	2人	3人
2	0人	0人
1	0人	0人

## 第6章 収益的収入

評価	評価項目	
	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	0人	0人
4	6人	5人
3	2人	2人
2	0人	1人
1	0人	0人

## 第6章 投資・財政計画

評価	評価項目	
	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	0人	0人
4	1人	0人
3	7人	7人
2	0人	0人
1	0人	1人

第7章 進捗管理 用語集

	評価項目	
評価	説明はわかりやすいか	説明は十分であるか
5	2人	1人
4	2人	2人
3	3人	4人
2	1人	1人
1	0人	0人

第6章から第7章までの全体を通して

	評価項目		
評価	文章表現などは適切か	表やグラフは見やすいか	色使いや文字の大きさは適切か
5	1人	2人	2人
4	4人	4人	4人
3	3人	2人	2人
2	0人	0人	0人
1	0人	0人	0人



以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

令和 年 月 日 \_\_\_\_\_

議 事 録 署 名 委 員 \_\_\_\_\_